

## 質 問 回 答

2020年8月19日

「(案件名) ギニア国海岸ギニアにおける国産米の生産・販売促進プロジェクト」

(公示日:2020年8月5日/公示番号: 20a00077)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答										
1.	<p>P.5-6 8. (1) 評価対象者従事者についての、1) 評価対象とする業務従事者の担当分野にて</p> <p>P.11 の 2) 評価対象業務従事者の経歴</p> <p>【業務従事者:担当分野 稲作技術】</p>	<p>P6 ③稲作技術(対象国経験・語学経験なし)となっている一方で、P.11 には、c) 語学能力: 英語。仏語の能力を有することが尚望ましい(両言語について証明書を有する場合は添付すること)とある。</p> <p>稲作技術担当の語学証明は添付すべきでしょうか?</p>	<p>対象国経験・語学を評価しますので語学証明書の添付をお願いします。</p> <p>P6 の「③稲作技術(対象国経験・語学評価なし)」を「③稲作技術」に修正します。</p> <p>P13 の稲作技術の配点を以下のとおり修正します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">(3) 業務従事者の経験・能力: 稲作技術。</td> <td style="text-align: center;">(12.00)。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ア) 類似業務の経験。</td> <td style="text-align: center;">6.00。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">イ) 対象国又は同類似地域での業務経験。</td> <td style="text-align: center;">1.00。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ウ) 語学力。</td> <td style="text-align: center;">2.00。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">エ) その他学位、資格等。</td> <td style="text-align: center;">3.00。</td> </tr> </table>	(3) 業務従事者の経験・能力: 稲作技術。	(12.00)。	ア) 類似業務の経験。	6.00。	イ) 対象国又は同類似地域での業務経験。	1.00。	ウ) 語学力。	2.00。	エ) その他学位、資格等。	3.00。
(3) 業務従事者の経験・能力: 稲作技術。	(12.00)。												
ア) 類似業務の経験。	6.00。												
イ) 対象国又は同類似地域での業務経験。	1.00。												
ウ) 語学力。	2.00。												
エ) その他学位、資格等。	3.00。												
2.	<p>P10 (2) 業務の実施方針等</p>	<p>渡航が同4月以降になった場合に、国内で事前(2020年12月から2021年3月)に実施できる業務についても提案があれば記載ください。とありますが、これに係る費用については、本見積りか別見積りどちらに計上すべきでしょうか。</p>	<p>コロナウィルス対策として制約の中で実施促進できる業務をご提案いただく場合、その経費は別見積りで計上ください。</p> <p>なお、今後、コロナウィルスの感染拡大により渡航時期の遅延が生じた場合、その時点での協議の結果、必要と判断した経費を計上しますので、現段階で見積りは不要です。</p>										
3.	<p>P17 プロジェクトの概要で</p> <p>【成果2の活動】</p>	<p>P17【成果2の活動】に、2-4. 海岸ギニアを対象とし、NRDS2に沿って作成されたアクションプランを実施するための手段を検討する。</p>	<p>ご理解の通りです。</p>										

		とあるが、このアクションプランは、本プロジェクトで新規に設立される、コメのバリューチェーンプラットフォームのアクションプランの意味でしょうか？	
4.	指示書 P.27 (26) 対象農家組合のエンドライン調査の実施	1 巡目、2 巡目、3 巡目それぞれのパイロットプロジェクトのエンドライン調査の実施時期は同じとありますが、何か理由はございますか。それぞれのパイロットプロジェクト毎に実施してもよろしいでしょうか。RD の活動計画表ではエンドライン調査の実施時期が振り分けられておりました。	<p>1 巡目と2 巡目については、エンドライン調査を二回実施します。1 回目(以下「第 1 回エンドライン調査」)は、各パイロットプロジェクトが終了した直後、つまりRDに記載のタイミングで実施します。2 回目(以下「第 2 回エンドライン調査」)は、プロジェクトの終了直前に実施するもので、3 巡目と同じタイミングで行います。1 巡目・2 巡目の第 2 回エンドライン調査は、各パイロットプロジェクト終了後のギニア側による継続結果を測定するための調査です。</p> <p>従いまして、企画競争説明書 P5、「(6)見積書 3)」の記載を以下のように修正させていただきます。</p> <p>a) 農家を取り巻く現況調査(第 1 ステージ)に係る直接経費(特殊傭人、現地再委託費等): 10,000 千円</p> <p>b) 第 1 バッチのベースライン調査および第 1 回エンドライン調査: 5,000 千円</p> <p>c) 第 2 バッチのベースライン調査および第 1 回エンドライン調査: 5,000 千円</p> <p>d) 第 3 バッチのベースライン調査およびエンドライン調査: 5,000 千円</p> <p>e) 第 1 バッチおよび第 2 バッチの第 2 回エンドライン調査: 5,000 千円</p> <p>f) 事務所修繕費: 第 1 期に 500 千円</p>

5.	P.34 5.業務用機材 「プロジェクトでは車両を 2 台購入するので、車両本体以外の燃料費および運転手雇用経費は見積りに計上すること」	実施にあたっては、車両保険や修理修繕・整備費等の項目も追加的に見積計上し、個別契約する必要がありますでしょうか。 もしくは「車両本体」に車両保険、修理修繕・整備費等も含まれるため、「燃料費および運転手雇用経費」のみ見積計上すればよろしいでしょうか。	車両は、JICA が購入しプロジェクトに貸与しますが、それ以外は本契約からの支出とします。 従いまして、車両購入費以外の、車両維持に関する経費(保険料、修繕、整備費、運転手雇用費、燃料費など)について、全て本見積りに計上して下さい。
6.	見積もりについて	現在のコロナ禍の影響で、海外からの帰国者には2週間の自主隔離期間が設定されています。この自主隔離期間は現地渡航に付随するものとしてみなされると思いますが、今回の見積もり作成、アサイン期間の考え方として、この自主隔離期間はどのように扱うべきでしょうか？	企画競争説明書の人月数及び旅費は、新型コロナウイルスに係る自主隔離期間を含めていませんので自主隔離期間を無視して計画を提案ください。 契約交渉の時点で想定される入国時の措置を確認し、必要に応じ当該人月を上乗せする等の手続きをとります。
7.	見積もりについて	カウンターパートや現地スタッフのコロナ対策費(マスク、フェイスシールド、消毒液等)を見積計上することも、昨今の状況を鑑みると必要と考えますが、これはその他の費用と同様に計上すれば良いでしょうか？	ご理解の通りです。一般業務費として本見積りに計上して下さい。
8.	見積もりについて	本プロジェクト内では、複数のパイロットプロジェクトの実施を想定していますが、この内容に関して現時点で特定は困難です。 このパイロットプロジェクトの実施にかかる経費は、本見積りに含めるのでしょうか？	プロポーザル作成時には見積り不要とします。第 2 期契約前に、具体的な規模及び必要な経費について協議します。
9.	P5 事務所修繕費	事務所修繕費として第一期に500千円とありますが、これは、3か所(コナクリ、ボケ県、ボファ県)全てにおいての金額でしよ	ボケ県、ボファ県の2カ所の合計の金額です。コナクリ(農業省本省内)は修繕不要という整理です。

		うか。もしくは、1か所あたりでしょうか。	
10.	P23 安全対策について	「コナクリ市到着後の、国家保健安全庁（Agence Nationale de Sécurité Sanitaire :ANSS）が指定する期間における隔離措置」にかかわるアサイン、旅費等の考え方をおよび見積の計上方法ご教授ください。	質問通番号 6.をご参照ください。
11.	P29 (6)国別研修（本邦研修）の実施	本邦ではなく、近隣第三国での研修は可能でしょうか？	可能ですので、ご提案下さい。なお、その際の経費については、別見積もりに計上してください。
12.	P29 (6)国別研修（本邦研修）の実施	国別研修に係る費用に関しては、本見積か別見積どちらに計上すべきでしょうか。	国別研修の経費については、別見積に計上してください。なお、研修の規模、頻度としては、プロジェクト期間中に、研修 2 回、各 10 名、期間は最大 2 週間を想定しています。
13	P. 5 3) 以下の費目については、以下に示す定額を見積もってください。	左記の項目では、「a) 農家を取り巻く現況調査（第 1 ステージ）に係る直接経費（特殊傭人、現地再委託等）：10,000 千円」とありますが、その対象は 24 頁に記載の「(3) 農家を取り巻く現況調査の実施」の全記載項目 10 行の「ボケ県およびボファ県の全農家組合の・・・という観点から、聞き取り調査および協働の可能性の協議を行う。」を含むのでしょうか。	ご理解の通り、含みます。
14	P. 5 3) 以下の費目については、以下に示す定額を見積もって	左記の項目では、「b) 第 1 バッチ・第 2 バッチのベースライン調査およびエンドライン調査（第 2 ステージ）に係る直接経費（特殊	質問通番号 4 をご参照ください。

	<p>ださい。</p>	<p>傭人、現地再委託等) : 10,000 千円」、「c) 第 3 バッチのベースラインおよびエンドライン調査 (第 2 ステージ) に係る直接経費 (特殊傭人、現地再委託等) : 10,000 千円」とあります。b) が契約第 2 期、c) が契約第 3 期を想定されていると認識しますが、他方、P.27 (26) ではエンドラインは第 3 期に一度に実施されると記載されており、どちらが正しいでしょうか。また、各契約時期で計上すべき b) (第 2 期) 及び c) (第 3 期) の正しい金額は各々いくらになるのでしょうか。</p>	
15	<p>P. 6, 11, 13 稲作技術担当の対象国経験・語学評価</p>	<p>P.6 と P.13 (配点表) では対象国経験・語学評価は無しと理解しますが、P.11 ではそれらを評価するとあります。どちらが正しいでしょうか。</p>	<p>質問通番号 1 をご参照ください。</p>
16	<p>P. 27 【第 3 期契約期間】 作業項目 (24)</p>	<p>(24) は、ここでは第 3 期のみの活動とされていますが、【全契約期間を通じての共通の業務】ではないのでしょうか？</p>	<p>ご指摘の通り、(24) は全期間を通じた業務として修正します。</p>
17	<p>P. 27 【第 3 期契約期間】、作業項目 (25) P. 29 【全契約期間を通じての共通の業務】、作業項目 (7)</p>	<p>【第 3 期契約期間】(25) と【全契約期間を通じての共通の業務】(7) の内容は重複しているように見受けられます。同作業については、【第 3 期契約期間】ではなく、【全契約期間を通じての共通の業務】として実施するという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>ご指摘の通り、(25) は全期間を通じた業務として修正します。</p>
18	<p>P. 29 (6) 国別研修 (本邦研修) の実施</p>	<p>国別研修の企画と実施は認めるとのことですが、予算の関係から貴機構内で想定されている回数・対象人数はありますでしょうか。</p>	<p>研修開催頻度、規模については、質問通番号 12 をご参照ください。 また、ご理解の通り、通常の国別研修と同様に、研修員の渡</p>

		<p>また、通常の国別研修と同様に、研修員の渡航・滞在費用は貴機構予算での負担、ビザ申請支援等（必要な場合には予防接種を含む）は貴機構ギニアフィールドオフィスが行う、という理解で間違いないでしょうか。</p>	<p>航・滞在費用は弊機構予算により負担し、ビザ申請、予防接種等も弊機構が支援します。</p>
19	<p>P. 35 7. 安全管理、(7) 治安管理にかかる特別経費、③衛星携帯電話</p>	<p>左記には、「安全対策に則った衛星携帯電話の購入、もしくはレンタル費用の計上、使用料金を本見積りに計上すること。」とあります。一方、コンサルタント等契約における経理処理ガイドライン P. 16 には、安全対策費としての衛星電話機材の使用料は別見積りとするとの記載があります。本見積り、別見積りどちらに記載すればよろしいでしょうか。</p>	<p>安全対策費について、別見積りでの計上としてください。</p>

以上